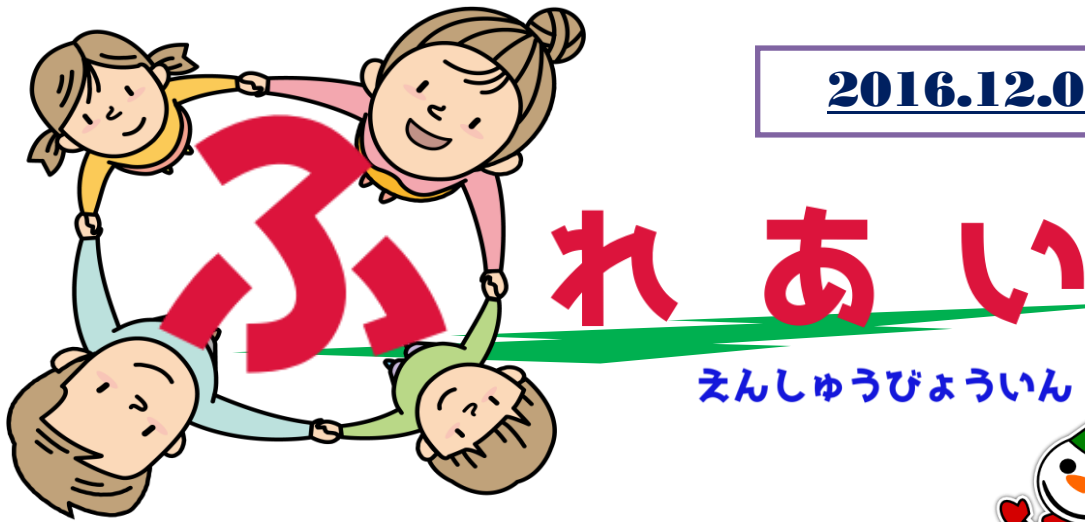


2016.12.01



えんしゅうびょういん 情報紙

【 担当：放射線科 】



最新鋭 MRI 装置を導入しました！

この度、遠州病院では現在使用中の1.5T（テスラ）MRI（磁気共鳴断層撮影）装置に加えて、2倍の**最新鋭3T（テスラ）MRI装置**を導入、12/1より稼働致します。



< SIGMA Pioneer GE Healthcare >

○検査時の音が静か

従来の装置は、検査時に工事現場のような激しい音がしていましたが、撮像によっては大変静かになり、音への緊張感と不安を出来るだけ取り除きました。

○とても開放的

これまでは狭苦しいからと拒否される患者様もおられました。患者さんが入る開口部（ドーム）を従来の60cmから**70cm**へと広くなり、圧迫感が緩和され快適な検査空間を提供します。



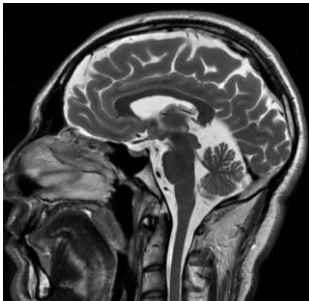
“テスラ”とは、磁石の強さを表す単位だと考えていいと思います。皆様のご家庭の冷蔵庫に磁石でメモを貼り付けている方もいるかと思いますが、その磁石の強さが5ミリテスラ、つまり0.005テスラ程度ですから、どれだけ強力な磁石か分かるかと思います。

○MRIとは、(MRIとCTの違い)

どちらも体の断層画像を撮影する装置ですが、最も大きな違いは画像を得る手段です。CTでは“X線”を使って画像を得るのに対し、MRIは大きな磁石による“強い磁場”と“電波”を使って画像を得ます。ですから、MRIは放射線による被ばくがなく、安心して検査を受けることができます。MRIは、診断を行うために適した断面を縦横斜めなど自由に撮影できるのが特長です。

※裏面もあります

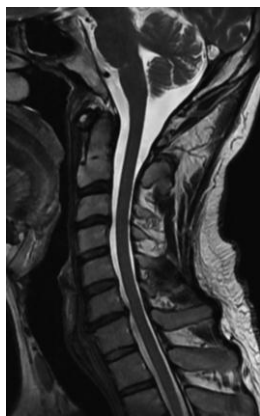
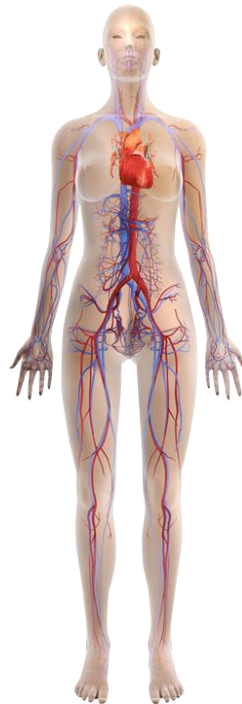
MR I は骨や空気による画像への悪影響が全くないため、例えば頭蓋骨に囲まれた脳や脊髄などの診断に適しています。さらに、薬（造影剤）を使わなくても、あるいは最小限の造影剤で主な血管の画像が簡単に得られるなどの特長があります。



頭部



脳血管



頸椎



膝

OMRIが有効な疾患【一例】

- | | |
|-------|--|
| 内科・外科 | <ul style="list-style-type: none"> ●肝臓・胆嚢・膵臓の腫瘍性病変 ●胆道・膵管のスクリーニング検査（MRCPなど） ●腎臓・膀胱・尿管の異常 ●内耳・小脳橋角部・咽頭・口頭の異常 など |
| 整形外科 | <ul style="list-style-type: none"> ●頸椎症 ●胸椎・腰椎ヘルニア ●脊髄腫瘍、脊髄奇形 ●骨軟部腫瘍 ●関節の靭帯損傷 ●半月板損傷 など |
| 脳外科 | <ul style="list-style-type: none"> ●脳腫瘍、脳血管性疾患、脳奇形、外傷 ●脳血管のスクリーニング検査 など |



***取り上げて欲しい病気や検査、質問等がありましたら、投書箱やよろず相談窓口をお願いします、随時取り上げていきたいと思っています。**

【監修：ふれあい編集事務局】